

製品安全データシート

作成 平成30年1月10日

製品名 低融点合金 1 3 8

物質の特定 単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名 :
別名 : 低融点金属
成分 : Bi Sn
化学式又は構造式 :
官報公示整理番号 : 既存化学物質対象外
CAS NO : 登録されていない
国連分類及び国連番号 : 該当しない
PRTR 法 : 該当しない

危険・有害性の分類

分類の名称 : 対象外
危険性 : 知見なし
有害性 : 過熱(450 以上)によりヒュームが発生する。
多量に吸入すると金属熱をおこすことがある。又、粉塵等を長期にわたり吸入すると、肺機能低下の兆候なしにじん肺になる可能性がある。
環境影響 : 知見なし

応急措置 目に入った場合 : 流水で洗眼し、必要に応じて眼科医の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合 : 石鹼と流水で充分洗浄する。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、必要に応じて医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませて吐かせる。
必要に応じて医師の手当てを受ける。

火災時の措置

消火方法 : 引火性・可燃性・自然発火性ない。
当該製品は着火しないが融点が 70 と低い為、周辺火災の場合は速やかに容器等を安全な場所に移す。移動不可能な場合(炉内溶湯)は

炉の外側周辺に散水して冷却する。炉内溶湯への散水は水蒸気爆発を
起こす要因となる。

消火剤 : 当該製品については特に制約はない。

漏出時の措置

掃き取るか真空掃除機で吸い取るなど、できるだけ粉塵が飛散しない方法で空容器に
回収する。作業時は粉塵マスク・手袋等必要な保護具を着用する。生活排水を通して
製品が河川等に排出され影響を起こさないように十分に注意する。

取扱い及び保管上の措置

取扱い : 労働安全衛生法等の関連法規に準拠して作業する。
溶解作業等、作業に応じて防塵マスク、保護手袋、保護眼鏡等必要
な保護具を着用する。
粉塵の飛散する場合は、防塵マスクの着用、局所排気装置を使用する。
溶融した当該製品は水との接触により水蒸気爆発を起こす恐れがある
ので充分注意が必要である。

保管 : 融点が138 と低く容易に流出するので高温場所での保管は避ける。
荷崩れを起こさないように積み重ねる。

暴露防止及び保護措置

許容濃度 : 設定されていない。

設備対策 : ヒュームや粉塵が発生する場合は設備の密閉化又は局所排気措置を設定
する。

保護具 : 作業に応じて下記の中から必要な保護具を着用する。
防塵マスク、保護眼鏡、保護面、保護手袋、安全靴、保護服

物理・化学的性質

外観等 : 暗灰色の塊状

比重 : 8 . 7 5

沸点 : 不明

融点 : 1 3 8

溶解性 : 強酸に可溶

危険性情報 (安全性・反応性)

安全性・反応性 : 通常の実験条件において安定

有害性情報

刺激性（皮膚・目）：ヒューム・ダスト等で目、鼻、器官を刺激する。
急性毒性：知見なし
慢性毒性：知見なし

環境影響情報

分解性：知見なし
蓄積性：知見なし
魚毒性：知見なし

廃棄上の注意

金属屑：廃棄物再生業者に委託し再生利用する。
当該製品を含む排水：排水は中和処理等により清浄とした後排出する。

輸送上の注意

移動、積込み、荷おろし等の作業を行う時は必要な保護具を使う。
運搬に際しては荷が転倒、落下することがないように積込み荷崩れの防止を確実に
行う。

適用法令

労働安全衛生法（船中毒予防規則、特定化学物質等障害予防規則）
大気汚染防止法（有害物質） 水質汚濁防止法（人の健康に係わる物質）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律

参考文献

- 1) 化学物質安全性データブック：(株)オーム社
- 2) 危険物毒物処理取扱いマニュアル：海外技術資料研究所
- 3) 労働安全衛生法便覧：労働基準調査会

[記載内容の取扱い]

ここの記載されている情報は全ての文献・資料を調査したものではありません。新しい知見に基づき改訂される事があります。又、記載されている危険有害性の情報は必ずしも情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学品は未知の有害性が想定される為、取扱いの際は十分に注意して下さい。